

平成20年度改正ミニ・ラグビー競技規則整理表

千葉県スクール委員会
2008.9.1(修正1)

	低学年(1・2年生)			中学年(3・4年生)			高学年(5・6年生)		
構 成	5人	フォワード 1人 ハーフバック 1人 バックス 3人	1人	7人	フォワード 3人 ハーフバック 1人 バックス 3人	3人	9人	フォワード 3人 ハーフバック 1人 バックス 5人	3人
競 技 場	40m×28m以内			60m×35m以内			70m×40m以内		
試 合 時 間	10ハーフ以内			15ハーフ以内			20ハーフ以内		

【キックオフ及びドロップアウト】

キ ッ ク オ フ	ハーフライン中央において、タップキックからのパス	ハーフウェイライン中央からのドロップキック、あるいはブレースキック	ハーフウェイライン中央からのドロップキック
得 点 後 の キ ッ ク オ フ	得点された側のチームがハーフウェイライン中央において、タップキックからのパス	得点した側のチームがハーフウェイライン中央、またはその後方よりドロップキックあるいはブレースキック	得点した側のチームがハーフウェイライン中央、またはその後方よりドロップキック
備 考	相手側はタップキックの行われる地点から5m下がる	キックオフは5mラインに達しなくてはならない	
ド ロ ッ プ ア ウ ト	ゴールライン中央手前5mの地点でタップキックからのパス	10mライン上またはその後方よりドロップキック。ブレースキックが許される	15mライン上またはその後方よりドロップキック

【キ ッ ク】

ダイレクトタッチ		10mライン内からのみ許される	15mライン内からのみ許される
戦 略 的 キ ッ ク	プレー開始及び再会のタップキック以外のキックは全て禁止	ボールを手で保持した状況でのキックは許される地上にあるボールのキックは許されない* 努めて手で保持したプレー及び安全面を重視	全て許される
フ ラ イ キ ッ ク		いかなる地域からも違法である	
キ ッ ク の 違 反	キックした地点で相手にスクラムが与えられる(含、ダイレクトタッチ)		

【ス ク ラ ム】

構 成	1人		3人	
姿 勢	頭を入れてスクエア(習熟度に応じてハンドスクラム可)		頭を入れてスクエア(両プロップは足を前後させない)	
パ イ ン ド	スクラムプレーヤーはスクラムが終了するまでバインドしていなければならない			
コ ン テ ス ト	ボールの取り合い、押し合いはしない(ノンコンテスト)		ボールの取り合い、押し合いはしない、ただし誤ってボール投入側が相手側にボールを蹴った場合はプレーを続ける	
ボ ー ル の 投 入 及 び ボ ー ル 出 し	ボールの投入はしない、予め右足元(つま先前)にボールを保持、右足の裏でボールを後方に押し出す	スクラムを組んでからハーフがボールを地面に置くまたはハーフがポイントに置いてからスクラム		a フッカーは故意にボールを相手側に蹴り出したリ、自チームオフサイドラインまでボールを蹴ってはならない b ボール投入はハーフバックが行い、スクラムから出るボールを扱う最初のプレーヤーでなければいけない c ハーフバックはあたかもボールに触れたかのようなそぶりや時間を空費する行為をしてはいけない d スクラムから出るボールを、ハーフバックが故意でなくプレーできなかった場合、いかなるプレーヤーもプレー出来る
オ フ サ イ ド ラ イ ン	防御側: ハーフバックは味方スクラムの最後尾の足を通りゴールラインに平行な線、ただし、1m以上離れるプレーヤーはバックスとみなす。バックスは、味方スクラムの最後方の足から3m下がったゴールラインに平行な線 攻撃側: 味方スクラムの最後方の足を通りゴールラインに平行な線(競技規則に明文化されていないが、こう解釈する)			a スクラムに参加しないプレーヤー(除、ハーフバック)は味方スクラム最後方の足から3m下がった位置(双方) b 防御側のハーフバックはスクラムに近接していない場合はバックスと見なされ、オフサイドラインはバックスと同じである。一旦バックスのオフサイドラインに下がった場合はスクラムが解消するまで、そのオフサイドラインを超えてプレー出来ない 例外: 防御側がボールを獲得した場合バックスオフサイドラインまで下がったハーフバックはオフサイドラインを超えてプレーできる
ス ク ラ ム の 終 了 オ フ サ イ ド ラ イ ン 解 消	オフサイドラインの解消は、ボール投入側のハーフバックのパスを、バックスのプレーヤーがキャッチした時点	オフサイドラインの解消は、ボール投入側のハーフバックがボールをパスした時点	1 ボールを獲得した側のハーフバックがボールに触った時点 2 ボールがスクラムに参加していないプレーヤーのオフサイドラインに達した時点 *以上、スクラム終了およびオフサイドライン解消とする(競技方法3-(8)3および3-(10)参照)	
ハ ー フ バ ッ ク	パスのみ(競技規則に明文化されていないが上欄に因る)		ボールをもってパス、キック、ランいずれも可	

【ラ イ ン ア ウ ト】

構 成	2人		2人	
コ ン テ ス ト	ラインアウトは行わずタッチの地点(タッチラインの外)より投入側がパスアウト		競い合う(コンテスト) ボールを獲得しなかった側のプレーヤーは、ラインアウトが終了するまでラインアウトを割って出てはいけない	
ボ ー ル を 取 っ た プ レ ー ヤ ー	ハーフバックに必ずパスしなければならない		ハーフバックにパス又はラインアウトを割って出て良い	
オ フ サ イ ド ラ イ ン	防御側はタッチの地点より3m後方		ラインアウトに参加しないプレーヤーはラインオブタッチから5m後方	
ラ イ ン ア ウ ト の 終 了	投入側がパスアウトした時		ラインアウトからボールが出たとき ただし、ボールが地面に触れたときは終了	
ラ イ ン ア ウ ト の 位 置	タッチの地点がゴールラインより5m以内の場合はゴールラインより5mの位置とする			

【ファールプレー及びペナルティ】

ファールプレー	相手をしっかりバインドせず振り回す ボールを持ったプレーヤーをチャージ、突き倒す、タッチラインの外に突き出す フェンドオフ(腕を横に振り、相手を払い除けようとする)	
ペナルティ フリーキック	反則を犯さなかった側のタップキック(タップキックとはボールを地面に置き、いずれかの方向に明確に蹴り進めることであり、手の中のボールをチョンと蹴ることではない)	
防御側のオフサイドライン	反則のあった地点から5m後方、又はゴールライン	
タップキックしたプレーヤー	ボールをもってパス又はラン (キックは不可)	ボールをもってパス、キック、ランのいずれも可

【補 足】

低 学 年	各チーム1名のコーチがグラウンドに入ることが許される。しかし、ゲーム中そのコーチは自軍の最後尾のプレーヤーより後方に留まり、 建設的な指示、助言が行える。ただし、ヒステリックに怒鳴ったり、レフリーの判定に異議を唱えてはならない。レフリーはこれに反したとき、あるいは試合の進行に妨げがあると判断した場合、試合を停止しコーチに注意する。それでも改善が見られない場合レフリーはそのコーチを退場させることが出来る	
中・高 学 年	ラインアウトにおけるジャンパーに対するサポーターイングプレーは禁止する。	
全 学 年	ミニラグビーにおけるタップキックとはボールを地面に置き、いずれかの方向にボールを明確に蹴り進めることであり、手の中のボールをチョンと蹴ることではない。 スクラムで、 防御側のスクラムオフサイドラインがスクラムより3m下がっていることをいいことにスクラムからボールが出る前に攻撃側のプレーヤーが後方より勢いをつけて走り込み、ハーフバックからフラットなパスを受けて突進を試みるプレーは、ペナルティキック又はフリーキックにおけるいわゆる「キャバルリー・チャージ」に該当し、競技規則に反するプレーである。 試合中、コーチは定められた区域内に位置し、建設的な指示・助言を行える。ヒステリックに怒鳴ったり、レフリーの判定に異議を唱えてはならない。レフリーはこれに反したとき、あるいは試合の進行に妨げがあると判断した場合、試合を停止しコーチに注意する。それでも改善が見られない場合レフリーはそのコーチを退場させることが出来る	

ミニラグビー(U12)の競技規則は、上位規則(U15、U19、IRB)に準拠することを基本原則として、このようなことから、ミニラグビーの競技規則に規定されていないものについては、上位規則に準拠する。